



# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ・タンナ島

期間 2014年7月12日～7月21日

参加メンバー

(左から) 上崎 秀美(D) 関根 淳(D) 川本 麻央(D) 沢田 宗久(D) Rory(ヴァヌアツ政府関係者)  
古森 淳一(V) 小西 あゆみ(DH) 大西 富子(DH) 合計7名



## 活動内容

7月13日(日)

今回、メンバーの出発地が関西、関東、海外からとばらばらであったため、関西組は12日より香港経由で Dr 関根を除く6名が15時10分にポートビラに到着した。空港でローリー氏と JICA メンバーの一人が迎えてくれ、メラネシアンホテルへ移動。

夜遅く関東から Dr 関根がホテルに到着し、メンバー7名全員が揃う。



7月14日(月)

Dr 沢田、Vo 古森は政府・保健省とミーティングの為、ポートビラに残り、他5名は11時に30分遅れでタンナに向け出発。タンナ11時35分着。迎いのドライバーが空港で待っていてくれ、荷物、機材ともに無事運ぶことが出来た。宿舎に移動後、Dr 関根、DH 小西は診療所に残り診療の準備をし、Dr 上崎、Dr 川本、DH 大西は市場へ米、水、野菜、LP ガスなどを買いに行く。

今年の宿舎はラナケル病院前の病院スタッフ用の宿を与えてもらい、移動時間がなく活動しやすい場所であった。

診療所は、バキュームの使用できるユニットが一台しかなく、ユニット数の不足する中での活動となった。

午後1名治療希望の患者が来院したため、治療を行なった。

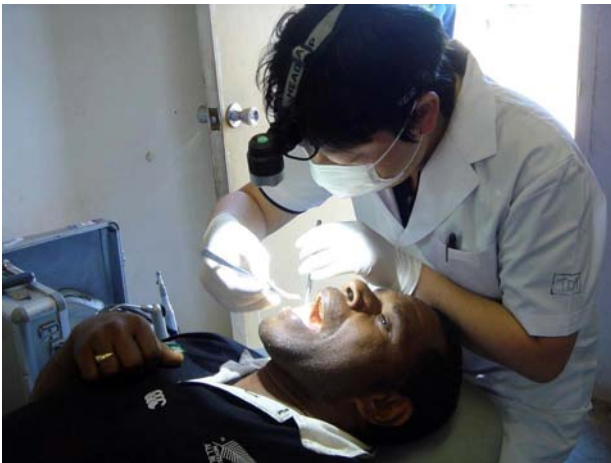
7月15日(火)

午前の活動9時より診療所で、Dr 上崎、Dr ラッセル、DH 小西らが、治療、アシスト、クリーニングをする。Dr ラッセルのおかげで、細かな説明も患者にスムーズに伝えることができ、患者も安心して治療を受けているようだった。午前の外回りは Dr 関根、Dr 川本、DH 大西らがラナケル小学校へ行き、120名ほどの検診と、歯ブラシのドネーション、DH 大西による歯ブラシ指導を行った。子どもたちの真剣に聴き入る表情に確かな手応えを感じることが出来た。

午後の活動14時より Dr 川本、Dr ラッセル、DH 小西らが診療所で治療を始める。義歯修理希望の患者が2名ほどいたが、材料がないため治療ができず、残念であった。また、本日最後の CR 修復時に、コントラが動かなくなり、これ以降、CR 修復は不可能となった。外回りは引き続きラナケル小学校へ Dr 上崎、Dr 関根、DH 小西らが100名ほどの検診を

行なった。

この日ポートビラでは Dr 沢田、Vo 古森が、ウォータータンク寄付について保健省と話し合いが行われた。ローリー氏より、JDM への感謝の念が伝えられ、またウォータータンクを寄付する小学校 10 校を選出するようにとの要請があった。



7月16日(水)

9時より Dr 関根、Dr ラッセル、DH 小西らが診療所で治療を始める。外回りは Dr 上崎、Dr 川本、DH 大西らがロカタイ小学校へ行き、150名の検診と歯ブラシのドネーションを行なった。学校校長、先生は非常に協力的な姿勢を示してくれ、歯ブラシ指導は DH 大西と先生の現地語への通訳もあり、英語のわからない生徒にも理解してもらうことができた。14時より Dr 上崎、Dr ラッセル、DH 大西により抜歯、テンポラリーセメントによる修復、



クリーニングを中心に診療所の治療はとどこおりなく行われた。外回りは Dr 関根、Dr 川本、DH 小西らがラムカイ小学校へ行き、147名の検診と歯ブラシのドネーション後、DH 小西は生徒ひとりひとりに直接歯ブラシ指導をしたいとの要望で、ドクター2名が前で説明をしている間、個別指導にあたった。



7月17日(木)

9時より Dr 川本、Dr ラッセル、DH 小西は診療所で治療を始める。10時過ぎにポートビラより Dr 沢田が診療所に到着し、治療に加わる。診療用ではないチェアも使用し、3名の患者を同時に治療することができた。外回りは Dr 上崎、Dr 関根、DH 大西らがユーマット小学校へ行き、116名の検診と歯ブラシのドネーションを行なった。

14時より Dr ラッセル、DH 小西が治療にあたり、Dr 沢田、Dr 川本は、ウォータータンク寄付校の選考のためタンナ島のエデュケーションオフィスへと向かった。8名の職員とともに、小学校の選考、島の子どもたちに不足する物資の確認などを行う。サニタリー用品、水筒、ポケットティッシュ、ホワイトボードなどが不足しているとのことであった。また、来年からはJDMの活動を、事前にラジオで告知してもらうようお願いをした。

昼食は Dr ラッセルを宿舎へと招き、昨年ボランティアとして参加した辻本氏より頂いたうなぎがふるまわれた。

外回りは Dr 上崎、Dr 関根、DH 大西らがツフー小学校へ行き、123名の検診と歯ブラシのドネーションを行なった。

17時頃、ヤスール火山に向け出発。天気もよく、道中は雄大な景色を存分に堪能することができ、帰りには満点の星空を眺めることもできた。



7月18日(金)

この日までに歯科検診は800名ほど行なっており、歯ブラシ、カルテはすでに底を尽きていたため、予定していたイサンゲル小学校への検診は行わず、診療のみをメンバー全員で行なった。

検診の結果治療が必要と診断された子どもたちが、きちんと治療に来る姿を見て、また、ドクターの説明に熱心に聞く保護者の姿を見て、JDMの活動が確実にこの地に浸透していることを確信できた。

14時、多忙な中、関東からなんとか時間を作り参加してくれている Dr 関根は、飛行機の接続の関係で他メンバーよりひと足先に帰国した。

残ったメンバーは、治療と並行しながら診療所の片付けを開始する。

Dr 沢田はレナケル小学校へ行き、奈良県の生駒ロータリークラブより預かってきた懐中電

灯 120 個のドネーションを行い、校長より JDM、生駒ロータリークラブ、また、以前文化交流をしていた南山本小学校校長宛てに、感謝状を頂いた。校長は、日本との文化交流を強く希望していた。



7月19日(土)

7時、Dr 沢田は再び教育省との会議のため、ポートビラへ戻り、10時30分より、スタッフは休日返上でウォータータンク寄付等の話し合いが15時まで行われた。加えて政府は、ホワイトサンドエリアでのJDMの活動を強く希望しており、今後、活動範囲を広げるかどうか検討していく必要があると感じた。

9時より、DH 大西が宿舎の片付け、Dr 上崎、Dr 川本、DH 小西らが診療所の片付けを開始する。

今回、ボランティアメンバーのいない中、DH 大西は、メンバーが気持ちよく働けるようにと、栄養バランスを考えた料理を毎日 DH 小西とともに作ってくれており、この環境の中で誰も体調を崩すことなく力を発揮することができたのは、2人のおかげである。

11時空港近くにあるホテルで食事をし、フライトまでの時間、今日までの疲れを癒すことが出来た。

16時50分予定通りポートビラへ向け出発、ポートビラに17時30分到着。

夜はDr 沢田の図らいで、ホテルの近くのレストランで食事をした。

7月20日(日)、21日(月)

5時ローリー氏、JICAメンバーのひとりが空港まで送迎してくれ、7時20分過ぎに予定より20分遅れでシドニーに向け出発。10時10分頃シドニーに到着。関西組4名は香港経由でそれぞれの帰途につく。家に帰るまでがJDM。

Dr 川本麻央





## データ

### 2014 年治療データ

	14 日	15 日	16 日	17 日	18 日	総数
抜歯	0	13	25	22	26	86 本
充填	1	10	24	17	13	65 本
スケーリング	0	9	6	11	8	34 人
チェックアッ プ	0	3	0	1	0	4 名
受信者数	1 名	30 名	35 名	35 名	33 名	134 名

### 2014 年小学校歯科保健データ

2014 年	検診人数	DMF	DMFT 指数	DMF 歯数
レナケル	217	237	1.092	4.26%
ロカタイ	150	87	0.58	2.24%
ラムカイル	147	83	0.564	2.13%
ユーミット	116	78	0.672	2.62%
ツフー	123	32	0.26	0.99%
5校	753	517		

## リーダー報告@上崎秀美

今回の活動は7月12日から21日までで、参加者は 歯科医師4名、歯科衛生士2名、ボランティア1名の7名での活動でしたが、往復とも各自バラバラで活動地点もバラバラなため全員参集は1日だけでした。

本隊4名は、香港、クアラルンプール経由の2班に分かれ 次の経由地シドニーでメルボルンからの1名と合流し5名でポートビラに到着し、ニューカレドニア経由、フィジー経由で2名がポートビラのメラネシアンホテルにて合流し全員集合しました。

タンナ班は5名で、午後からの現地歯科医師ラッセル氏とともに6名体制で3名ずつに分かれ、レナケル病院、学校回りと活動しました。ポートビラ班は2名で 政府関係者との懇談、ロータリー例会への参加などの活動でした。

タンナ島の医療、教育関係者は大変友好的で、先方よりリストアップ資料を渡され、期待の大きさに驚きました。

診療への協力、外回りのトラックの手配など、すべて順調でした。

最後には遠隔地のため病院まで来れない地域のための往診診療も依頼され、政府との約束のウォータータンク設置とともに 来年への宿題となりました。

2014年の活動は、天候にもめぐまれ順調に推移し、体調不良も出ず、無事帰国できたことを感謝しつつ See you next time!

## 代表報告 沢田 宗久

14日早朝にタンナ島へ先発隊が出発しました。私と古森さんが残り、9時半にポートヴィラ・ロータリークラブ（RC）の会長とお会いし、我々の奉仕活動の目的を説明し、水曜日の例会に訪問することをお伝えしました。

午後にヴァヌアツ政府の保健省に出向き、保健省と教育省の事務次官、JICAのメンバーを交えて9名でミーティングを行いました。主な議題はウォータータンクのことでした。

ヴァヌアツは乾期と雨期に分れていて、乾期になると水不足に陥るので水を保存する必要があります。その為にウォータータンクが必要になります。ヴァヌアツ政府から我々にタンナ島の小学校に10基のウォータータンクの支援の要請がありました。

ヴァヌアツは発展途上国で経済的に貧しいので外部からの援助に頼らざるを得ないのです。我々の最終目標は自立をサポートすることです。

水曜日にポートヴィラRCの例会に古森さんと一緒に訪問致しました。そのRCは、収入が少ないのですが、奉仕の精神が旺盛であり、わずかな資金でも地域の人々に喜んでもらえる活動をしています。国自体に資金的余裕がないので、学校にも寄付しています。

ヴァヌアツの出生率は現在世界でも上位であります。5歳～12歳の子どもは公立の小学校では授業料は無料ですが、12歳以上になると、授業料が必要になるので、中学校に行けない子どもがたくさんいます。

ヴァヌアツは83の島々から成り、53のリーダー（グループ）があり、絶えず政権が変わっています。

17日木曜日よりタンナ島のレナケル病院に行きました、既に先発隊が活動を行なっていましたので、直ぐに合流して、治療を始めました。

活動は、病院での治療と外廻りの検診で、治療内容は、抜歯・歯石除去・充填・歯磨き指導等です。外廻りでは、各地域の小学校へ出向き、歯磨き指導と歯科検診をし、

チェック後、治療の必要な子どもは保護者の許可を得て病院での治療を行います。

歯磨き指導では生徒達が皆、熱心に歯を実際に磨いてくれて、歯磨きの必要性を感じてくれています。



そして毎年、それぞれの小学校には歯ブラシ・文房具・運動具（サッカーボールなど）を寄付しています。

今回は、病院での治療と外廻りの検診を含め、延べ約900名の患者様を診ることができました。

又、レナケル小学校と日本の大阪府八尾市立西山本小学校、南山本小学校の間で8年前から文化交流を行っています。今まで、沢山の絵画などの交換も行いました。

今回、奈良生駒RCから手動式懐中電灯をレナケル小学校へ寄付しました。校長先生が生徒に使い方を教えていました。生徒達は手に持って楽しそうにしていました。校長先生から感謝状を頂きました。

タンナ島での活動を終えてポートヴィラに着き直ぐに、ヴァヌアツ政府の保健省、教育省とのミーティングを行いました。

そこでは、タンナ島での活動報告とタンナ島での教育省とのミーティングの結果報告です。その中で、タンナ島のどの地域の小学校にウォータータンクを設置するかを検討した結果、10校を選びました。容量は6000リットルのタンクです。

来年、訪問時に設置できるよう検討するとのことでした。

今回も、実りある活動でした。これからも継続して行きたいと思いますので、皆様方、宜しくお願い致します。